

横根平子のまちづくり通信

2020年12月発刊

vol.21

横根平子のまちづくりを考える会

一年を振り返ることの多い年末。今年ほど、それまでの日常の何気なさ、ありがたさを感じた年はありません。変わってしまった暮らしの中で、自分たちにとって何が大切なのか。変わりゆくまちをどう見つめるのか。今回は創作紙芝居の完成お披露目会と秋のまち歩きをレポート。その様子を追いながら、改めてまちづくりについて考えるきっかけになれば幸いです。

私たちのまちは、こんなまち

2020年
10/18
(日)

貴重な県指定文化財を、紙芝居で伝えます!

創作紙芝居「藤井宮大明神の御神酒瓶子」
完成お披露目会 開催!

「あまり知られていない地域の文化財の価値を皆で再発見したい」。そんな想いで企画した今回の創作紙芝居。題材は藤井神社所有の愛知県指定文化財・藤井宮御酒瓶子です。

おおぶ文化交流の杜アロップで開催した完成お披露目会には、参加者多数で急遽2部制に変更。合計30名が鑑賞しました。



ふじのみやおみきへいし
藤井宮御酒瓶子

藤井神社の社宝で御神酒を入れる壺。「藤井宮大明神御酒瓶子」とヘラ書きの陰刻があり、約800年前に作られたとされる貴重な常滑焼。高さ21.8cm、口径10.3cm、胴径19.5cm。
※こちらは会員作のレプリカです。

今から約420年前(1600年)頃の話。干ばつに困った村人は、藤井神社に雨乞い神事をお願いし、「だんつく」を奉納するが…。藤井神社近くの明神川の土手から出土した御酒瓶子の謎に迫る創作民話です。



大府市の岡村市長も鑑賞されました!



思わず引き込まれる楽しい民話! 今後は地元で上演も。

語り手はアロップ図書館で朗読やストーリーテリングを幅広く行う地元在住の廣野さん。ゆったり染みる語り口が、創作民話の世界に引き込みます。

地域の紙芝居作家・あいばまさやすさんの親しみやすい絵柄で、昔の横根の村人たちの息遣いを感じられるようでした。

まちづくりを考える会では、今後特に地元の方に見ていただき、その良さを一緒に認識したいと企画中です。



中日新聞にも掲載(2020年10月13日付)

まちづくりは、今

2020年
11/1
(日)

造成中のまちを、じっくり検証。

横根平子のまち歩き 2020.秋 開催!

どんな工事?
どう変わるの?

気持ちいい秋晴れの中、横根平子土地区画整理事業・造成工事事務所前に集まったのは地元の方々を中心とした総勢35名。今回、初めての試みとなった「まち歩き会」。土地区画整理組合の濱嶋さん、大嶋さんにもご同行いただき、実際の工事現場に入り、計画についても詳しく説明していただきました。

まちづくりを考える会の進行により、組合理事長の濱嶋さんも挨拶。区画整理の経緯も語ってくれました。

工によって現れた地層にも注目。最後は横根保育園前で解散となりました。

ビレッジハウス裏一帯の山の造成現場です。

大府市大府横根平子土地区画整理事業 令和2年度工事施工箇所

宝池

横根保育園

スギ薬局

ビレッジハウス

尼寺前の沈砂池は2号調整池予定地。現在、築造工事に取り掛かっています。

ちんさち 沈砂池とは工事中の雨水や土砂を貯める一時的なため池です。

普段は入れない工事現場へ。広い道路も計画されています。※今回は工事休止中に組合の計らいで特別に入ることができました。普段は危険ですので絶対に入らないでください。

通行地区界

疑問や要望も解消。来てよかった!の声も

土地区画整理組合の方々や現場を歩くことで疑問が解決するなど、有意義な時間となった今回のまち歩き。普段、なかなかお話できないご近所さんとも、顔を見ながら(マスク越しですが)お話しすることの大切さも実感しました。

地権者でなくとも、このまちの住民にとって大規模な区画整理の動向は気になること。まちづくりを考える会では、今後もこのような会を企画すると共に、組合にも住民との対話や進捗報告を求めていきます。

【参加者からの声】

- ・工事による竹や草の根の問題も直接組合の方と話ができて、その後、すぐに対応してくれた。
- ・ヒメボタル生息地でまだ工事前の所がある。計画では緑地なのでそのまま残せないか。
- ・ショベルカーが間近で見られて貴重な体験でした。
- ・工事に関して困ったことや疑問があれば、組合(横根公会堂2階 0562-51-5753)に問い合わせればよかった。

問い合わせ先 鷹羽 0562-46-4380 http://yokonehirako.jimdo.com/
横根町平子 加納 0562-47-2595 横根平子のまちづくりを考える会

